

たるみ歯科通信

2019年11月号 No.107

こんにちは。歯科衛生士の安井です。

季節が進み、少しずつ肌寒くなってきましたね。

今月は歯科衛生士としての技術向上のセミナーに参加しますので、より良い治療ができるよう頑張ってお勉強してきます！

さて、今月の通信は「**X線（レントゲン）写真**」についてお話しします。

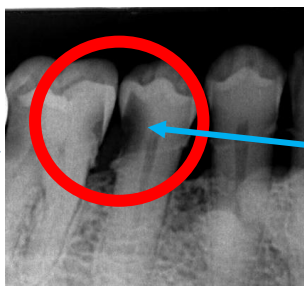
歯科で使用する X線写真は何種類かありますが、今回は最もよく撮影する「**デンタルX線写真**」についてご説明します。



デンタルX線写真とは・・・

フィルムをお口の中に入れて3～4本の歯を撮影し、歯と歯の間や骨の中など見えない場所を正確に確認することができる撮影方法です。

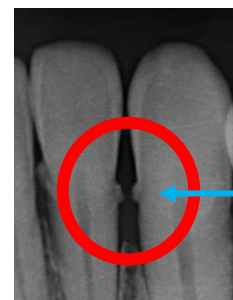
下の写真では何も無いように見えますが、デンタルX線写真で見ると歯と歯の間に大きなムシ歯ができています。



黒い部分が
ムシ歯です！！

他にも歯石の付き方や骨の位置をみて歯周病の進行具合を見たり、乳歯の下にある永久歯の状態を確認したりすることも出来ます。

例えば・・・



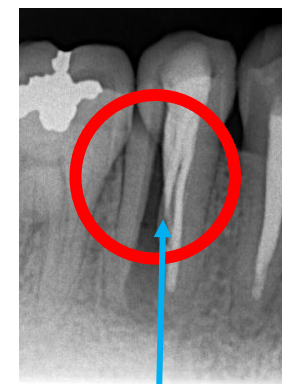
でこぼこしているのが
歯石です！！



乳歯の下で生える
準備をしているのが
永久歯です！！



神経が傷んで
歯の根の先に膿が
たまっています！！



歯の根がタテに
折れています！！

X線の被爆量って心配ないの？



歯科用 X線撮影機はデジタル化されており、ごく微量な X線量で鮮明な写真を撮影できますので、人体への影響は心配ありません。

当院では定期的にデンタル X線写真を撮影してお口の中の変化を確認し、

『より正確な診断』と『より質の高い治療』を行なっています。